

防災塾・だるま 8周年記念講演会

(防災塾・だるま・ホームページ: <http://darumajin.sakura.ne.jp/>)

平成 25 年 9 月

- ◆ 日 時 : 2013 年 9 月 27 日 (金) 18:00-19:30 場 所 : 神奈川大学 23 号館 206 号室
- ◆ 主 催 : 防災塾・だるま 司 会 : 山田(美)さん
- ◆ 参加者 : 会員 29名 一般 5名 計 34名 (敬称略)
(会員) 池田、伊東、植山、小原、菊地、森、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、長沼、片山、成松、大西、佐藤(毅)、宮川、玉井、樋口、高江洲、佐々木、山田(富)、鈴木、石井(邦)、松井、北原、河野、福島、磯野、小林(英)、小嶋。
(一般) 中山、湯浅、濱野、加山、下村。



テーマ:「関東大震災直後の小学校～横浜の事例から～」

講師:横浜市史資料室 調査研究員 松本 洋幸 氏



・震災で大きな被害があった小学校の現場で、教職員は、震災直後から、地域の中核として幅広い役割を担い、行動した。
・そのカギは、教職員たちの柔軟な対応・創意工夫と、市民の逞しさだった。

《横浜市内の公立小学校は甚大な被害を蒙った》

- ・ 36 校のうち 19 校全焼・15 校倒潰・大破。
- ・ 教室数 799 室 使用可能は 39 室のみ。
- ・ 教職員 997 名 15 名死亡。
- ・ 児童 54,962 名 903 名死亡 (1.6%)。

《震災直後 小学校と教職員の行動・貢献》

- ★地域コミュニティの中核として幅広い役割を担った：
 - －教職員たちによる調査、記録。
 - －応急対応、傷病者の手当、井戸の消毒など。
 - －救援物資の運搬分配、道路整理、夜警、民心対応。
- ★避難所として：約 20 校 避難者・罹災者 約 6 千人。
- ★授業再開は順次、柔軟に：
 - －通学区域に限定せず、再開が可能な丘陵部の学校から順次児童を吸収。(東京：10 月初旬一斉再開)
 - －当初は野外授業・天幕授業・バラック校舎も。
 - －児童の精神ケアや給食の重要性に着目した対応。
- ★震災の被害を物語る記念品の収集にも努めた。

《参加者感想》

- ・震災直後の混乱の中、柔軟に創意工夫で行動し、地域に貢献した小学校と教職員から、減災と復興の原点を学んだ。
- ・90 年前の震災から学ぶことが如何に多いかを再認識した。地域の取組みにいかしていきたい。